

編 輯 後 記

昭和34年末をもつて、本研究所所長井森陸平教授は甲南大学教授に転出された。僅か1年ではあつたが所長として本研究所の発展に尽力され同教授を失つたことは誠に残念なことであつた。しかしながら新たに後任として久曾神昇教授を所長に迎え、所員一同団結して更に活発な研究活動が続ける所存である。又所員中でも松葉秀文教授の転出、市川寛教授の御逝去など惜しみても余りある損失であ

つたが、本年度より本学大学院を終えられた森靖雄君を所員として迎えることが出来た。新進気鋭の同君に期待する所大である。

本紀要第6輯も所員各位の熱心な研究の成果を集めることが出来た。何れも現地の調査に基づいた貴重な労作であるが、その成果を世に問うに当り、広く江湖の御批判御叱正を期待する。尚編輯当事者の怠慢によつて発行が遅れたことを深くお詫びする次第である。

(U)

愛知大学総合郷土研究所紀要 第6輯

昭和35年11月30日 発行

〔非 売 品〕

編輯者代表	久 曾 神 昇
	豊橋市町畑町
印 刷 所	基督教印刷株式会社
	豊橋市町畑町
発 行 所	愛知大学総合郷土研究所